

神奈川県温泉地学研究所報告投稿規定

1. 神奈川県温泉地学研究所報告（略称温地研報告）には、当所における研究業績、関係する調査研究成果等を投稿することができる。

2. 掲載する原稿の種別は、論文 (Original)・総説 (Reviews)・報告 (Notes)・資料 (Technical paper)・抄録 (Abstract of Journal) の5種類とし、それぞれ次のように定義する。

論文 (Original)

日英表題、英文要旨、本文（邦文もしくは英文）、日本語及び英語による図表の説明 (caption)、参考文献からなり、未発表の内容を含み、十分な考察がなされているもの。

総説 (Reviews)

日英表題、本文、日本語による図表の説明、参考文献からなり、主にそれまでに公表されているデータや解析結果の考察に基づいて、新たな仮説、視点および研究の方向性などについての提案を行うもの。

報告 (Notes)

日英表題、本文、日本語による図表の説明、参考文献からなり、未発表のデータや解析結果を含み、研究途中ではあるが、新たな知見が得られたものなど。

資料 (Technical paper)

タイトルおよびデータ等からなる。

抄録 (Abstract of Journal)

学会誌及びそれに準ずる雑誌等に発表した論文要旨を記載したもの。

3. 論文・総説・報告・資料はそれぞれ下記の書式に従う。

文字数

A 4 縦、横書きとし、9 point、25 字×45 行×2 段組みを刷り上がり一頁とする。

文字

投稿原稿はワープロソフトを用いて清書し、余白を上下左右 5 cm 以上空けて印刷する。

サイズ

図・表・写真のサイズは、横方向を最大 17cm、縦方向を最大 24cm までとする。

カラー

図、写真図・写真はカラーでも可とするが、印刷版はモノクロームとなる場合があるため、モノクロームでも判別可能な図表及びキャプション構成にすること。

表題

表題は簡潔に原稿の内容を示すようにする。続報の明記は出来るだけ避け、副題を付加するなどして原稿の内容を明らかにする。「論文」「総説」「報告」においては、日本語及び英語の表題をつける。

著者名及び所属

共著者がいる場合、和文では「・」で連ねる。ローマ字表記の様式は、名前、姓の順に、名の頭文字と姓を大文字とし、あとは小文字とする。3名以上の連名時は「,」で連ね、最後の共著者は「and」でつなぐ。

責任著者は、著者名に脚注を付けて示す。

著者には複数の個人が属する集団を含むことができ、その集団の名前を著者の一人と同様に記すことができる。その集団に属する個人を明らかにする必要がある場合は、脚注を付け個人名（日英併記）と必要であれば集団の中での役割（リーダー、研究コーディネーター、執筆責任者など）を日本語で列記することができる。

所属は投稿時におけるものとし、脚注をつけ著者あるいは著者として示された集団に属する個人のうち明示された者の所属名及び住所を記す。前所属が当所であった場合に限り、前所属名を併記することが出来る。また投稿後に所属が変わった場合は、現職名を併記する。

章番号

章番号は算用数字のみを用い、1. 1.1.2. とする。また、謝辞及び参考文献に章番号はつけない。

表記

和文の場合、文章の書き出し及び改行後は必ず1文字あける。本文中の句読点は「,」「。」を用いる。年号は西暦年もしくは西暦（元号）年で記載する。

引用

本文中における参考文献の引用は「著者名（発行年）」または「（著者名、発行年）」とし、脚注番号はつけない。

和文の場合、著者が2名の時は「・」でつなぎ、3名以上の場合は、筆頭著者の後ろに「ほか」をつけて省略する。

ローマ字表記の場合は、同様に2名は「and」でつなぎ、3名以上は「*et al.*」をつける。

() 内で複数の文献を引用する時は、間を「;」で区切る。

図・表・写真番号

通し番号は、図1、表1、写真1とする。「論文」の場合、Fig.1、Table 1、Photo.1に続き、英文のキャプションを併記する。また、図表が幾つかに分割されているような場合には、それぞれに枝番号をつける。

図表の説明文 (caption) は本文とは別にまとめて記述する。

その他

温泉地学研究所における研究業績を投稿した場合、謝辞の後に但し書きとして、該当する事業名を明記する。

参考文献

本文中に引用された文献について、論文については、著者名（発行年） 題名、雑誌名、巻番号、頁の順番で記載する。また単行本、報告書等については、著者名もしくは編者名（発行年） 論文題名、編者名、単行本題名、出版社名、頁の順番で記載する。

一文献が複数行にわたる場合は、第2行目以下を一文分下げる。

著者名はアルファベット・年代順に配列し、和文及び英文表記による区別は行わない。共著者がいる場合、和文は「・」で連ね、英文は「,」でつなぐ。また日本人名がローマ字表記されている場合は、姓及び名のイニシャル順に「,」でつなぎ、イニシャルの後ろには「. (ピリオド)」をつける。

発行年は「(西暦)」で記し、著者名及び題名との間は一文字分のスペースのみを入れる。

欧文題名は、固有名詞を除き、最初の単語の第一文字のみを大文字で表記する。

雑誌名は一般的な略称で表記し、通し頁のあるものは巻番号を、ないものは巻・号番号と、その号の頁を記す。

単行本、報告書、図幅など、編者による著作の場合、編者名には「編」もしくは「ed(s)」をつけて記す。また参照箇所が特定できる場合は、章題や論文名などともにその頁範囲を記入し、それ以外の場合は、全頁数のみを記す。

題名以下の各項目は「, (カンマ)」でつなぎ、頁の終わりは「. (ピリオド)」で止める。

例 著者1・著者2（発行年） 題名、雑誌名、巻番号、開始-終了頁.

例 著者名（発行年） 題名、編者名、単行本題名、出版社名、開始-終了頁.

4. 著者は投稿時は、印刷された原稿、図・表・写真のコピーを編集幹事へ提出する。また、完成原稿の提出時は、原稿の印刷物、図・表・写真の原図及び原稿の電子ファイル編集幹事に提出し、必ず著者側でファイルの予備を作成しておく。

5. 投稿された原稿は、当所編集規定に則って査読を行い、掲載の可否を決定する。

6. 著者校正は初校のみとし、指定された校正期日までに編集幹事へ提出する。

7. 別刷りは希望した場合に限り、50部を上限として受け取ることが出来る。

8. 著者に当所職員が含まれない原稿を寄稿する場合は、当所職員による推薦書の提出および所長の承認を必要とする。

付則

この投稿規定は、平成11年6月1日より適用する。

この改訂は、平成18年10月1日より適用する。

この改訂は、平成20年2月1日より適用する。

この改訂は、平成28年10月1日より適用する。

この改訂は、平成29年9月8日より適用する。

この改訂は、令和3年12月8日より適用する。